

令和３年度 大阪府立吹田高校 学校教育自己診断 (生徒・保護者)

集計結果の分析と 今後の取り組み



【はじめに】

今年度も、生徒並びに保護者の皆様のご意見を反映し、より良い学校運営に資するため、「学校教育自己診断」を実施いたしました。お忙しい中にも関わりませず、概ね7割の保護者の皆様からご回答をいただきました。

その集計結果と今後の取り組みについてまとめましたので、お届けいたします。

【資料の見方】

吹田高校では、他の大阪府立の高等学校と同じく年度当初に「学校経営計画」を策定し、その実現に向けて、教職員が力を合わせ、学校教育に取り組んでいます。

そこで、今年度の学校教育自己診断の結果等につきましても、その「学校経営計画」とリンクした形で整理しました。

*「学校経営計画」は本校のホームページ(以降、HPと記します)に掲載しておりますので、あわせてご覧ください

本資料の見方は、以下の通りです。

- ① 【「学校経営計画」の今年度の重点目標】
- ② 【その項目に関わる質問とアンケート集計結果】
- ③ 【アンケート結果に対する学校の受け止め方(分析)】
- ④ 【来年度以降の指導の方向性(対応)】

1 遅刻・頭髪・登下校時のマナー指導

■生徒へのアンケート

【アンケート項目と集計結果】

質問		学年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R03肯定的回答率
1	あなたは、毎朝遅刻をしないように意識をしていますか。	1年	79.2%	14.4%	3.4%	3.0%	93.6%
		2年	83.0%	13.3%	1.1%	2.7%	96.2%
	(全学年 肯定的回答率平均 95.3%)	3年	84.7%	11.4%	2.5%	1.3%	96.2%
2	あなたは登下校時に、交通ルール・マナーを守るように努めていますか。	1年	69.8%	25.1%	3.4%	1.7%	94.9%
		2年	71.5%	25.4%	1.9%	1.2%	96.9%
	(全学年 肯定的回答率平均 96.3%)	3年	69.7%	27.3%	0.8%	2.1%	97.1%

【学校の受け止め方（分析）】

質問1に対して、全学年での肯定的な回答が95.3%、否定的な回答が4.7%となりました。多くの生徒が、遅刻をしないための意識を持って行動してくれていることが伺え、遅刻の回数が今年度は少し増えたが以前に比べると少ない数を維持できています。

基本的には現在の指導を継続してまいります。生徒が「遅刻指導がなくとも時間を守る」という当たり前のことを主体的にできるようになるのがめざすところです。

質問2につきましても、全学年での肯定的な回答が96.3%と、多くの生徒が“交通マナーを守る意識”を持って行動してくれていることが伺えます。一方で、意識の低い生徒もいるため、登校指導の範囲を広げ、下校指導も行い、交通違反を繰り返す生徒には自転車通学を禁止にする等の厳しい指導を検討していきたいと思います。

【来年度以降の指導の方向性（対応）】

年々遅刻が減少し、交通マナーも数年前に比べて明らかによくなっています。

身だしなみの指導については、一定の成果をあげているピアス指導、スカート指導。昨年度の2学期から始めて、充実させる必要のある化粧指導等を「指導をされ、ペナルティーを科されるから」ではなく「自分の成長」や「周りへの迷惑」を考えて生徒が主体的に守っていけるように働きかけていきます。

めざすところは「じっくりと生徒と話す指導」であり、「生徒自身が自らを律することができる学校」です。このことを念頭に置きつつ、生徒の現状に合った指導を続けていく必要があります。

誰かに言われなくても TPO に応じた高校生らしい服装や行動ができるように、また、その日々の取り組みが、希望する自己実現・進路実現につながっていくように、生徒の自覚ある行動と想像力に期待します。

■保護者へのアンケート

【アンケート項目と集計結果】

質問		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R03肯定的回答率
1	生徒が遅刻した場合の書写・反省文や生徒との話し込み等の遅刻指導について理解できる。（通院などの特別な場合を除く）	55.3%	37.9%	4.7%	2.1%	93.2%
2	生徒が髪を染色した場合などの頭髪指導について理解できる。	52.1%	39.5%	6.6%	1.7%	91.7%
3	授業中の携帯電話使用（鳴った場合を含む）やSNSによる不適切投稿などの携帯電話指導について理解できる。	73.5%	23.8%	1.9%	0.8%	97.2%

【学校の受け止め方（分析）】

本校で行っている遅刻，頭髪，携帯電話の指導について、どの指導内容についても肯定的な回答が90%以上であったことより、非常に多くの保護者の皆様が本校の指導にご理解をいただけていることが伺えます。

アンケート結果を受け、これらの指導を継続的に展開するとともに、より一層多くの保護者の皆様にご理解いただけるよう、より良い指導方法を模索し、指導の経過や経緯についてもご連絡、ご報告することを心掛けていきたいと感じています。

【来年度以降の指導の方向性（対応）】

遅刻や違反行為については、当然の規範としてしっかりと定着するまで、現在の指導を継続すること、より良い指導法を考えていくことが必要だと思っています。指導に際しては、もちろん、ペナルティを科すことが目的ではありません。現在も心がけていることですが、ペナルティを科したから“はい、これで終わり”ではなく、時間を惜しまずにしっかりと説諭を行い、なぜ指導を受けているのか、該当生徒にきっちりと納得させること、安易な指導にならないことが不可欠だと認識しています。

ペナルティがなくても、生徒自らが自分を律し、また、自分の成長を考えて、時間を守りルールを守るという当たり前のことができるように、今後も丁寧な指導を続けていきたいと考えています。引き続き、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

【「学校経営計画」における今年度の重点目標】

2 学校行事・部活動のさらなる充実・活性化

■生徒へのアンケート

【アンケート項目と集計結果】

質問		学年	そう思う	どちらかとい えはそう 思う	どちらかとい えはそう 思わない	そう思わ ない	R03肯定的 回答率
3	あなた自身は、文化祭、体育祭、遠足などの学校行事に自主的・積極的に参加していますか。	1 年	46.9%	26.2%	19.9%	7.0%	73.1%
		2 年	53.6%	25.3%	13.3%	7.8%	78.9%
	(全学年 肯定的回答率平均 77.6 %)	3 年	51.7%	29.1%	15.5%	3.8%	80.8%

【学校の受け止め方（分析）】

全学年での肯定的な回答が今年度は77.6%。R2年度が約87.5%、R1年度85.5%、H30年度85%、H29年度85%、と下降傾向になりました。

今年度に関しては、新型コロナウイルス感染拡大防止を踏まえて昨年度が文化祭の中止、今年度は縮小版としての開催となりました。体育祭が昨年度の学年ごとに時間を短縮しての開催、今年度は本来6月開催を11月実施にし、時間も縮小して開催しました。どの行事にも制限があったことや、例年の形を知っているのが3年生しかいないことや、遠足や修学旅行の延期・中止等も背景にあると感じています。

一方で、体育祭における応援団の復活や、文化祭開催時期の変更や予算を多く設定したことで、ステージが盛り上がるなど、良い傾向も見られています。来年度以降の生徒たちの意欲につながっていると考えています。

【来年度以降の指導の方向性（対応）】

依然としてコロナウイルスの感染拡大は終息の兆しを見せず、最大限安全に配慮した形での行事運営というものを意識する必要性がこれまで以上に増していますが、社会情勢に即しながらも、少しずつ活動制限を無くし、本来の形に戻していければと考えています。

「0から1へ」というコンセプトのもと動いてきましたが、学校行事というものが生徒の成長や自己実現の大きな要因となっていることは紛れもない事実であり、1に戻せた部分は大きいと捉えています。生徒会部として、社会的な状況の変化を受け入れた上で「置かれた状況の中で自分たちに何ができるか」ということを生徒たちとともに検討していき次年度以降は「1から先へ広げる」ことを目標とします。

■生徒へのアンケート

【アンケート項目と集計結果】

質問		学年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R03肯定的回答率
4	学校の部活動は活発だと思いますか。	1年	40.5%	38.4%	11.8%	9.3%	78.9%
		2年	32.7%	39.3%	16.5%	11.4%	72.1%
	(全学年 肯定的回答率平均 73.8%)	3年	27.0%	43.4%	20.1%	9.4%	70.5%

【学校の受け止め方（分析）】

数値だけを追いかければ、肯定的な回答はR2年度で約76%、R1年度70%、H30の80%、H29の77%となっており、今年度は73.8%とさほど大きな変化はないと捉えています。部活動の加入率は44.6%、R2年度が54.7%、R1年度が55.7%、H30が48.9%、H29が46.2%と今年度は大きく減少傾向にあります。（5月時点での数値）

「部活動が活発かどうか」という質問に対しての生徒の判断基準は、活発なクラブの様子を、【見たり・聞いたり・感じたり】しているかどうかであると思います。自身が所属するクラブ活動に一定の満足感を得ている場合は、その活発な活動を【見たり・聞いたり・感じたり】しているので、「活発である」と捉え、クラブに加入していない生徒であっても、クラブに加入している友人やクラスメイトの精力的な活動を【見たり・聞いたり・感じたり】していれば、「活発である」と答えるでしょう。

「活発でない」と答える生徒の多くは、そもそも本校の部活動に興味・関心がなかったり、精力的に部活動に励んでいる友人が身近にはいなかったりするので、クラブ活動の様子がわか

らないことが原因だと考えます。

いずれにせよ、「本校の部活動をより活発にさせるためには」という根本的な議論も当然必要ですが、同時に、現在、活発に活動しているクラブの様子を、多くの生徒に知ってもらうような取り組みも重要であると考えます。その取り組みを進めることで、クラブに加入していない生徒も、クラブ活動の様子を【見たり・聞いたり・感じたり】することができるのではないかと考えています。

【来年度以降の指導の方向性（対応）】

クラブ部員の活動の様子を、他の多くの生徒に知ってもらうための手段として、始業式・終業式での表彰や、ホームページ上でのクラブのブログ・SNS の活用などの活性化は必須であると考えます。また生徒会執行部やクラブ員、部顧問で壁新聞や試合予定・結果の掲示を行うことも有効であり、他のクラブで頑張っている生徒の活動に関心をもてるような機会を、生徒に提供できるような取り組みを推進していければと思います。

とはいえ、新型コロナウイルス感染症対策を行った上での活動が次年度以降も必須になるため、活動内容や活動時間については、時間をかけて慎重に検討していく必要があります。

そして、部活動における一番の問題は部顧問問題です。状況によっては部のスクラップも視野に入れ、一つのクラブにかかる教員を増やし、負担を分散させることも考えていかなければならないのではないかと考えています。管理職には専門知識のある教員の配置にも力を注いでいただければ、と考えております。

■保護者へのアンケート

【アンケート項目と集計結果】

質問		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	肯定的回答率
8	本校の文化祭、体育祭は生徒が自ら進んで取り組んでいると思われますか。	27.7%	59.4%	11.0%	2.0%	87.0%

【学校の受け止め方（分析）】

肯定的な回答が今年度は87%となっており、R2年度と同じ結果でした。R1年度の約90%、H30年度の約90%、H29年度の90%と比較しても概ね横ばいの結果となりました。

質問項目に関する保護者の方々の回答の肯定率は、子どもたちも学校生活への満足度と関係にあると考えられます。

今年度は新型コロナウイルス感染症への感染対策を十分に行った上で、文化祭を制限付きの午前中のみとして開催し、体育祭は11月に全学年で行いました。昨年できなかったものを復活させたものの制限がたくさんあったこと、本校の「例年」の行事を知っている学年が3年生しかいなかったことが、増加につながらなかった原因だと捉えています。しかし、一方で高い数値を残せたのは、生徒たちが自ら楽しもうと努力する姿が上級生を中心に見られたことや、教職員が行事に一定の理解を示し、開催にあたって総動員で協力いただけたことが大きな要因だと捉えています。

【来年度以降の指導の方向性（対応）】

前述したように保護者の方々の行事への意識は「子どもが学校行事を肯定的にとらえているかどうか」という点に大きく影響があると考えています。

学校として一番注力すべきは「生徒にとって有意義な学校行事の運営」であり、社会情勢に即した安全な行事運営が求められる中、本当の意味で生徒が望む形での行事の実施を念頭に、生徒たちの「自主性」をはぐくみ、導いてあげられることができる学校行事を今後とも引き続き検討していければと思います。

■保護者へのアンケート

【アンケート項目と集計結果】

質問		そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	肯定的 回答率
9	本校の部活動は、活発だと思われますか。	30.5%	53.0%	13.8%	2.7%	83.5%

【学校の受け止め方（分析）】

肯定的な回答が今年度は83.5%。R2年度が約84%で、R1年度約82%、H30年度の83%、H29年度約80%と比較しても、概ね横ばいとなっています。本校の部活動は運動系14、文化系11、同好会1つ、合計26種類あります。競技の特性や部員の状況を踏まえながら、個々のクラブの活動方針に即して部活動が実施されており、平日・休日を問わず、練習や試合をしているクラブもあれば、「平日のみ」や「週2日」というような活動形態をとっているクラブなど様々です。

こういった活動形態の違いがあることやコロナ禍による影響により満足に活動ができない1年であったのにもかかわらず、大幅な減少がなかったことに対しては本校の部活動に一定の理解をいただけているのではないかと捉えています。

今年度は先述にもあった通り、クラブ加入率が大幅に下がっている。その大きな要因がコロナ禍による活動の制限と、クラブ体験期間を設けられなかったことの2点が大きいと考えています。1年生のクラブ加入率は33.1%（5月時点）と低いですが、途中加入者も例年に比べて多いという側面もあります。学校としてクラブ活動を活性化させ、盛り上げていくことが必要であると考えています。

課題としては、部活動を前向きに捉えていない生徒に対して、部活動の良さをどのようにアピールできるのか、そして、一度入部した生徒を卒業まで続けさせるにはどうしたらよいのか、具体的なアイデアを教職員だけでなく、部員と共に考えていくべきであると考えています。

また、保護者の皆様に対しては、本校の部活動の様子をよりよく知っていただけるような情報発信に努めていかなければならないと思っています。

【来年度以降の指導の方向性（対応）】

多くの生徒が「入りたいな」と思える部活動づくりと、部活動の良さを継続的にアピールしていくことが大切であると考えます。

本校入学から各引退時期まで、フォローできる体制を整えることと、4月の仮入部期間や個別の部活動勧誘だけでなく、年間を通して定期的に部活動参加への呼びかけを継続して行うよ

うにしたいと考えております。部活動の情報発信についても、メルマガやホームページ、クラブのブログ等をより一層活用しながら、保護者の皆様にも部活動の様子をお伝えしていければと思います。

【「学校経営計画」における今年度の重点目標】

3 教育相談・支援教育の充実

■生徒へのアンケート

【アンケート項目と集計結果】

質問		学年	そう思う	どちらかとい えればそう 思う	どちらかとい えればそう 思わない	そう思わな い	R03肯定的 回答率
5	あなたは、本校に悩みを相談できる場（先生や部 屋）があると感じていますか。	1 年	32.5%	37.9%	13.8%	15.8%	70.4%
		2 年	29.2%	38.1%	19.6%	13.1%	67.3%
	（全学年 肯定的回答率平均 70.8 %）	3 年	35.4%	39.2%	16.0%	9.3%	74.7%

■保護者へのアンケート

【アンケート項目と集計結果】

質問		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R03肯定的回答率
4	生徒が気軽に悩みを相談でき、安心して学校生活が送れるよう、保健室や生徒相談室などでの、きめ細かな教育相談体制ができています。	20.4%	59.1%	15.8%	4.6%	79.6%
5	お子さんの心身の健康について、相談したいことがある場合、生徒が気軽に先生に相談できる。	21.4%	55.5%	14.8%	8.4%	76.9%

【学校の受け止め方（分析）】

「教育相談・支援教育の充実」について、70.8%の生徒、78.3%（質問4、5の平均）の保護者が肯定的に回答しています。

教育相談・支援教育については担任や保健室を中心として、生徒が気軽に相談できる体制を築いてきました。今年度は、感染症予防対策のため、「みかんルーム（教育相談室）」の開放ができなくなりましたが、スクールカウンセラーの定期的な来校に加えて、スクールソーシャルワーカーにも来校いただき、ケース会議や個別相談を継続して実施しています。また、薬物乱用防止教室、デートDV予防啓発出前授業、性に関する講演会、健康教育セミナー、他社理解のための講演会など、心身の健康の充実について意識を高める教育活動を行ってきたことも、生徒が心身の健康に関心を持ち、解決の手段を持つことにつながっていると感じています。

【来年度以降の指導の方向性（対応）】

基本的には、これまで同様、生徒たち一人ひとりの悩みや想いを真摯に受け止め、それぞれのケースに応じたきめ細かな対応を心がけます。

本校の支援体制、支援に対する教職員の意識は極めて高く、安心して相談してもらえる状況です。さらに、多様な課題のある生徒にしっかりと寄り添えるよう、ケース会議や職員研修、個別相談等の機会も継続して設定し、生徒一人ひとりが気軽に悩みを相談でき、一歩進んで積極的に心身の健康を増進できるスキルを身につけ、学校生活を充実したものとしていけるよう

環境を整えていきたいと思っています。

今後もさらに、関係機関並びに保護者の皆様とも連携を深めながら、教育相談、支援教育の進化・充実に努めます。今後も引き続き、お子様に関わっての悩み、お気づきのことなど、お気軽に学校までご一報いただきますようお願いいたします。

【「学校経営計画」における今年度の重点目標】

4 互いを認め合える集団づくり

■生徒へのアンケート

【アンケート項目と集計結果】

質問		学年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R03肯定的回答率
6	本校では皆さんに、男女平等や性差別、障がい・障がい者に対する正しい理解など、人権に関して学ぶ機会を提供していると思いますか。	1年	44.6%	40.3%	7.7%	7.3%	85.0%
		2年	34.7%	38.2%	17.4%	9.7%	73.0%
	(全学年 肯定的回答率平均 80.3%)	3年	40.0%	43.0%	12.8%	4.3%	83.0%
7	本校では「いじめ」や「暴力」などいろいろな問題を見逃さず対応してくれていると思いますか。	1年	37.4%	43.8%	11.4%	7.3%	81.3%
		2年	32.3%	43.4%	15.9%	8.4%	75.7%
	(全学年 肯定的回答率平均 78.5%)	3年	28.8%	49.8%	13.3%	8.2%	78.5%
9	本校では、授業やLHR、講演会などの機会を通して、情報リテラシーを身に着けるような指導をしていると思いますか。	1年	34.3%	45.6%	14.6%	5.4%	79.9%
		2年	36.6%	46.9%	11.5%	5.0%	83.6%
	(全学年 肯定的回答率平均 82.7%)	3年	39.0%	45.6%	9.5%	5.8%	84.6%

【学校の受け止め方（分析）】

項目6に対する肯定的回答は、1年生 85.0%、2年生 73.0%、3年生 83.0%であり、平均すると約 80.3%で昨年度よりやや低下する結果となりました。また、否定的回答が2年生と3年生で多く見受けられます。この結果は多くの生徒が人権HRを実施する意図や内容を、十分に理解してくれていると考えられる一方で、まだ一部の生徒が自分に関係する事のように思えず学習する機会を逃してしまっていることの表れであると考えています。

項目7に対する肯定的回答は、1年生 81.3%、2年生 75.7%、3年生 78.5%であり、平均すると約 78.5%で昨年度よりやや向上する結果となりました。本校独自のアンケートによる実態把握や、その後の担任を中心とした丁寧な聞き取りに対して、一定の信頼は得られていると考えています。しかし、こちらの項目も2割程度の生徒が否定的な回答をしており、生徒が安心して学校生活を送りたいという気持ちをよりサポートする体制づくりが喫緊の課題であると考えています。

【来年度以降の指導の方向性（対応）】

人権HRの更なる充実をはかると同時に、目的意識をはっきりさせる必要があります。また、高校3年間と通しての系統立てたHRを計画し、生徒の成長とともにステップアップできる学習体制を構築する必要があると考えています。

また、全ての生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、アンケートをより効果的なものにしていくとともに、日頃の生徒の様子を注意深く見守り、トラブルを見逃すことなく安心して過ごせる環境作りに努めたいと考えています。

■保護者へのアンケート

【アンケート項目と集計結果】

質問		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R03肯定的回答率
7	本校では、すべての生徒の尊厳が守られ、基本的人権が尊重されるように、LHRに人権学習を組み入れたり、いじめの実態を把握のための取り組みを行っている。	14.2%	65.3%	17.1%	3.4%	79.5%

【学校の受け止め方（分析）】

肯定的回答が79.5%であり、昨年より大幅に低下する結果となりました。また、否定的回答が2割を上回っています。本校の人権教育と教職員の意識を根本から見直し、生徒の実態把握を今までより更に迅速かつ丁寧に行わなければいけないという、保護者の皆様からの切実な意見だと真摯に受け止めています。

【来年度以降の指導の方向性（対応）】

全ての生徒が安心して学校生活を送っていけるよう、今後も府教委のアンケート「安全で安心な学校生活を過ごすために」に加えて、本校独自のアンケートを実施し、生徒の様子を注意深く見守りながら、いじめの防止及び兆候の早期発見や対応等、何かあれば丁寧かつ迅速な対応に努めてまいります。

また、年間HR計画に位置づけて人権HRを全学年で計画的に実施し、生徒の発達段階に応じて、人権についての正しい知識と理解の育成に努めてまいります。さらに、HRの様子を学年団や広報等で広く発信し、本校の人権教育を生徒ならびに保護者の皆様にご理解いただけるよう努めてまいります。

【「学校経営計画」における今年度の重点目標】

5 安全管理の徹底、校内美化の推進と外部機関との連携

■生徒へのアンケート

【アンケート項目と集計結果】

質問		学年	そう思う	どちらかとい えばそう 思う	どちらかとい えばそう 思わない	そう思わ ない	R03肯定的 回答率
8	あなたは日頃、学校で清掃するなど校内美化に努 めていますか。	1 年	33.6%	44.3%	13.2%	8.9%	77.9%
		2 年	29.6%	42.2%	17.8%	10.4%	71.9%
	(全学年 肯定的回答率平均 74.2 %)	3 年	27.9%	45.1%	18.9%	8.2%	73.0%

■保護者へのアンケート

【アンケート項目と集計結果】

質問	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R03肯定的回答率
6 校内は、清掃が行き届いている。	14.3%	52.5%	22.2%	11.0%	66.8%

【学校の受け止め方（分析）】

「校内美化の推進」について、生徒の 74.2%、保護者の 66.8%が肯定的に回答しています。創立 71 年目を迎え、校舎設備の老朽化や水道が少ないなどの不便さもあります。そういう中で、通常清掃、清掃徹底週間、施設設備の安全点検、生徒保健委員による学校環境美化啓発活動（清掃点検、ポスター掲示など）を継続して行ってきました。今年度も事務室技術職員や教員有志が校内清掃活動を行ってきました。安全点検で所見があった箇所については、速やかに対応しています。これらの取り組みを通して、学校施設設備環境に一定の改善はあったものと考えています。

【来年度以降の指導の方向性（対応）】

校舎設備老朽化の改善については、府教育庁に引き続き計画的な整備を要望し、着実に整備していきたいと考えています。

同時に、生徒・教職員の一人ひとりが「自分の学校・母校」という気持ちで清掃に取り組むことが、「古いけれど、手入れの行き届いた清潔な学校」につながると考えています。自らの学習環境を清潔に保つことは、将来の社会生活を行う上でも大切です。今後も様々な活動を工夫して美化意識の定着に向けて、継続して指導していきたいと考えています。

清掃の行き届いた環境で学校生活を送る喜びを生徒が感じられるよう、粘り強く取り組んでまいります。保護者の皆様のご理解とご協力に感謝いたします。

【「学校経営計画」における今年度の重点目標】

- 6 授業アンケートの活用と授業見学週間の定着

7 授業規範の確立と授業マナーの向上

■生徒へのアンケート

質問	学年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R03肯定的回答率
10 先生は、生徒の授業中の私語や勝手な行動を見逃さずにしっかりと注意していると思いますか。	1 年	44.2%	35.0%	9.2%	11.5%	79.2%
	2 年	36.8%	44.6%	10.4%	8.2%	81.4%
	3 年	29.9%	45.8%	13.5%	10.8%	75.7%
(全学年 肯定的回答率平均 78.8 %)						
11 あなたは、授業中に私語や勝手な行動をすることなく集中して受けられていますか。	1 年	52.1%	32.4%	9.7%	5.9%	84.5%
	2 年	52.5%	34.9%	8.5%	4.2%	87.3%
	3 年	45.3%	37.6%	14.3%	2.9%	82.9%
(全学年 肯定的回答率平均 84.9 %)						
12 本校のカリキュラム（授業科目の配置等）は、進路希望に応じて、コースや選択科目が選べるように配慮されていると思いますか。	1 年	52.8%	39.5%	5.6%	2.1%	92.3%
	2 年	45.7%	45.0%	7.1%	2.2%	90.7%
	3 年	37.6%	42.5%	13.9%	6.0%	80.1%
(全学年 肯定的回答率平均 87.7 %)						

■保護者へのアンケート

【アンケート項目と集計結果】

質問		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R03肯定的回答率
10	本校教職員は授業改善に取り組んでいる。	16.8%	63.1%	15.7%	4.4%	79.9%
11	お子さんは、本校の授業内容に満足（わかる、興味が持てる）している。	17.7%	47.2%	27.3%	7.9%	64.8%
12	本校のカリキュラム（授業科目の配置等）は、お子さんの進路希望に応じたコースや選択科目が選べるようになっていいる。	33.6%	53.8%	9.5%	3.0%	87.4%

【学校の受け止め方（分析）】

8割弱程度の生徒が「先生は生徒の授業中の私語や勝手な行動を見逃さずにきっちりと注意していると思いますか」と捉えてくれています。一方で、全学年を通じて約2割強の生徒が「授業中に生徒への注意をしていない」と否定的な回答をしています。高校生活の基本は授業であり、どの学年・どの授業であっても授業規律が保たれている状態が望ましく、生徒の皆さんの意見は重く受け止めています。

また、約1/3の保護者の皆様がお子さんは吹田高校の授業に満足していないと感じられていることが分かります。

一般的に、高校での授業はただ単純に楽しいだけのものではなく、充実感や達成感を得るためには生徒自身の努力が必要ですが、生徒に一定の学力をつけることは学校として当然の責務であり、中でも授業は学校の根幹をなすものです。

そのため、教員の授業力の向上に向けては、質問10にあるような取り組みを実施し、精力的に授業改善に努めています。

しかしながら、少なくない皆さんから否定的な回答をいただいたことは、あらためて学校として真摯に受け止め、授業に興味をもたせる一層の工夫や、学習に対して不安がある生徒に対するさらなるケアが必要だと認識しており、早急に改善を図りたいと思います。

教育課程に関しては、どの学年においても9割弱の生徒がカリキュラムに満足しているといえることができます。また、保護者の皆様におかれましても9割弱の方がカリキュラムに満足していると回答していただいております。一方で、カリキュラムと進路希望が結びついていないというご意見も少なからずございます。これらのご意見を真摯に受け止め、より良い教育課程を作り上げていくように尽力いたします。

【来年度以降の指導の方向性（対応）】

生徒の皆さんに一定の学力をつけることは学校として当然の責務であり、中でも授業は学校の根幹をなすものです。

今回の結果を踏まえ、すべての教員が自らの授業技術を磨く必要性をさらに強く自覚し、1つ1つ丁寧に取り組むことで総合的な授業力の向上に努めてまいります。また、科目や教科単位で年間の到達目標や評価規準を明確にし、生徒がめざす資質・能力を示すことで、計画的に授

業を実施していく所存です。

一方で、授業はまさに教員と生徒の共同作業であり、お互いが求められる役割と責任を果たすことで初めて「よい授業、興味が持て、分かる授業」が成立します。

授業規律の確立について、生徒の皆さんに自身の行動を見直すこと、必要な予習や復習をすることなどを、学校としても強く求めていきたいと考えています。

保護者の皆様のご理解とご協力をいただきながら、生徒が、学ぶこと、新たな知識を得ることの楽しさと大切さに気づくことができる授業やカリキュラム作成に、引き続き学校をあげて取り組んでいきたいと思っています。

【「学校経営計画」における今年度の重点目標】

8 三年間を見据えた系統的な進路指導

■生徒へのアンケート

【アンケート項目と集計結果】

質問		学年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R03肯定的回答率
13	本校で提供している進路に関する情報や進路ホームページは、あなたが将来の進路を考えるうえで役立っていると思いますか。	1年	46.6%	44.8%	5.6%	3.0%	91.4%
		2年	41.2%	48.5%	7.7%	2.7%	89.6%
	(全学年 肯定的回答率平均 89.1 %)	3年	40.8%	45.4%	10.4%	3.3%	86.3%

■保護者へのアンケート

【アンケート項目と集計結果】

質問		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R03肯定的回答率
13	本校では、お子さんの進路実現に役立つ情報提供が適切に行われている。	24.1%	54.5%	15.8%	5.6%	78.6%
14	本校では、お子さんの学力向上のための講習などが適切に行われている。	15.1%	53.2%	25.9%	5.8%	68.3%

【学校の受け止め方（分析）】

「進路情報の提供」について、生徒の肯定的回答が89.1%と昨年度より大幅に増加しました。昨年度はコロナ禍1年目ということで、予定していた進路行事が中止になりましたが、今年度は予定していた進路行事をすべて実施できたため、肯定的回答が増加したと受け止めています。保護者の方の回答は例年並みになっています。講習の効果的な実施が必要だと受け止めています。

【来年度以降の指導の方向性（対応）】

進路指導の充実に向け、お子様の入学から卒業までの3年間を見通した「吹田進路プログラム」の内容をさらに充実させ、新たな取り組みも計画していきます。各学年の状況に合わせた、進路指導ができるよう努めてまいります。

「進路に役立つ情報提供」のため、これまでも発行してきた「進路ニュース」を引き続き発行してまいります。

また、「進路検討会議」を定期的に行うとともにその内容の充実に努め、進路実現の妨げとなる諸問題（経済面、健康面等）の早期の掘り起こしに努めます。進路指導部・担任団に加え、副担任も含めた全教職員で迅速に対応し、一人ひとりの生徒に向きあうきめ細かな進路指導をさらに進めてまいります。

9 その他

【アンケート項目と集計結果】

■生徒へのアンケート

質問		学年	そう思う	どちらかとい えばそう 思う	どちらかとい えばそう 思わない	そう思わ ない	R03肯定的 回答率
14	先生は、自分たちのために一生懸命に指導してく れていると思いますか。	1 年	50.6%	34.0%	4.9%	10.5%	84.6%
		2 年	40.0%	40.7%	10.5%	8.7%	80.7%
	(全学年 肯定的回答率平均 83.1 %)	3 年	41.6%	42.4%	7.6%	8.4%	84.0%

■保護者へのアンケート

質問		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R03肯定的回答率
15	本校教職員は生徒のために、一生懸命に指導をしている。	26.6%	56.0%	13.6%	3.8%	82.6%

【学校の受け止め方（分析）】

教職員の指導に対して、生徒・保護者とも8割以上の肯定的な回答をいただいておりますが、一方では6～7名のうち1名の割合で本校教職員の指導に対して理解が得られていないと感じておられます。生徒・保護者に十分に理解を得られるように、教職員が生徒個々の特性をより深く理解し、人格のより良い発達をめざした適切な指導・援助に対して下記の2点について改善を検討する必要があります。

① 日常的な指導において、全教職員の共通理解のもと、生徒と教職員の相互信頼という基盤を築きながら、校内のルールやマナー、基本的生活態度（時間・服装・挨拶・言葉遣い）を全教員で粘り強い指導をめざすこと。

② 生徒個々の特性を生かしながら、協働の集団や社会の構成員として適した資質や態度・能力の発達を図り、学校だけでなく様々な生活の中で強く正しく生きる態度や能力の発達を助成するため、具体的場面に即した指導をめざすこと。

【来年度以降の指導の方向性（対応）】

社会の移り変わりに伴い、教育課題もますます多様化・複雑化していく中で、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちを見守り、道徳的な心情を育て、判断力・実践意欲を持たせるなど、道徳性を養うことが不可欠となっています。

今後とも、保護者・地域の皆様からのご意見やご要望をさらに真摯に受け止め、教職員が一丸となって教育活動に専心してまいります。お子様への指導に疑問やご質問がございましたら、小さなことでも結構ですので、お気軽に頂ければ幸いです。

■生徒へのアンケート

【アンケート項目と集計結果】

質問		学年	そう思う	どちらかとい えはそう 思う	どちらかとい えはそう 思わない	そう思わ ない	R03肯定的 回答率
15	あなたは、学校からの連絡を保護者にきちんと伝えていますか。	1 年	46.4%	34.7%	15.5%	3.3%	81.2%
		2 年	40.8%	35.7%	18.1%	5.4%	76.5%
	(全学年 肯定的回答率平均 78.8 %)	3 年	38.9%	39.7%	15.1%	6.3%	78.7%

■保護者へのアンケート

質問		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R03肯定的回答率
16	お子さんと家で学校での出来事などについて話をする。	38.9%	35.7%	21.1%	4.3%	74.6%

【学校の受け止め方（分析）】

学校での出来事や連絡事項について、4名中3名の割合で保護者の方と生徒が家庭で話をされていると回答しています。「思春期」になると、ご家庭でほとんど話さなくなる生徒が多くなります。特に男子生徒はその傾向が強くなります。生徒たちが自立していく過程では、保護者への依存度は徐々に下がっていくことが自然であると言えますが、各ご家庭におかれましては「過保護」でもなく「放任」でもなく、「付かず、離れず、さりげない」関わり方を心がけていただければ幸いです。

■保護者へのアンケート

質問		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R03肯定的回答率
17	個人懇談、進路説明会などに積極的に参加している。	19.7%	48.2%	25.9%	6.1%	68.0%

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で文化祭は生徒・教職員のみでの開催となり、また体育祭は全学年での開催となったものの、3年生の保護者以外の方々に学校へお越しいただくことができませんでした。授業見学、学年別の進路説明会等も開催できず、学校行事に参加する機会は担任との三者面談のみであった方も多くおられます。度重なる臨時休校により、学校からの連絡もホームページや Twitter 等で行うことが多く、学校の様子が分かりにくいというご意見も多数いただきました。一方で学校行事が思うように実施できず、様々な日程が変更となりましたが、昨今の社会情勢を含め、学校の対応へのご理解、ご協力いただき、また、多くの保護者の方から学校に対する励ましのお言葉を頂戴いたしました。令和4年度になっても新型コロナウイルス感染症に関する状況は不透明ですが、引き続き、本校の教育活動へのご理解、ご協力をお願いいたします。

■保護者へのアンケート

質問		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R03肯定的回答率
19	本校は、家庭への連絡や保護者との意思疎通（意見や要望を聞く機会）をきめ細かく行っている。	15.6%	53.5%	22.7%	8.2%	69.2%

学校から各ご家庭への連絡や保護者の皆様との意思疎通につきましても、3名中2名の割合で、きめ細かく行われているというご回答をいただきました。より多くの生徒・保護者の方に学校の様子や行事予定・緊急連絡等をご覧いただけるようホームページやTwitterを開設しております。また、毎週末にメールマガジンにて、今後の学校行事の予定・時間割変更や、学年からの連絡事項や配布物について情報を配信させていただいております。

現在、無断欠席、各種指導、学校内での怪我や成績など生徒に何かあった際には保護者の皆様に連絡することを徹底しており、日頃より連携を大切にしていきたいと考えています。今後もホームページやメールマガジン、Twitterを活用した情報提供を充実させていきますので、引き続き、ぜひ忌憚のないご意見やご要望をお寄せください。

<生徒 15、保護者 16,17,19 について>

【来年度以降の指導の方向性（対応）】

学校で行う教育活動は、保護者の皆様にもしっかりとご理解をいただき、ご家庭においても共通認識に基づいてご協力・ご指導をいただくことで、より大きな成果につながるものがほとんどです。

学校といたしましても、学校での教育活動に、より一層保護者の皆様のご理解・ご協力を賜るため、進路指導、教科指導、テスト、行事等の情報提供をさらにきめ細かく行い、相互の意思疎通を丁寧に行ってまいりたいと思います。保護者の方で疑問や質問がございましたら、遠慮なくご連絡ください。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、保護者の方々に学校へお越しいただく機会が設定できない状況が続くことが予想されますが、学校にお越しいただけるときは、実際に生徒たちが活動している様子をご覧いただければ幸いです。

■保護者へのアンケート

質問		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R03肯定的回答率
20	近隣の地域施設や大学などとの連携を積極的に図り、「開かれた学校づくり」をめざした取組みを積極的に実施している。	12.3%	58.9%	22.8%	6.0%	71.2%

【学校の受け止め方（分析）】

開かれた学校づくりをめざした吹田高校の現在の取り組みに対して、今年度も70%を越える保護者の皆様から肯定的な回答をいただきました。吹田高校は開校以来、地域に愛され、地域に開かれた学校をめざして教育活動を展開してまいりました。特にここ数年は、その取り組みを強めています。

しかしながら、一昨年前の令和2年度からコロナ禍において、近隣の大学や中学校等の教育施設との交流を検討・企画が、緊急事態宣言により大人数での開催・屋内での開催が延期・中止になる場合が多く、数年続いていた吹田市立の博物館との「高博連携」等も実施できませんでした。

集合形式での地域連携ができない状況の中、オンラインによる校内教職員研修や学習塾主催

の個別相談会、また校内放送と動画による生徒人権研修等、新たな実施形態による取り組みも行うことができたことは、次年度以降に向けてのプラス材料として捉えています。

【来年度以降の指導の方向性（対応）】

新型コロナウイルス感染症の影響により、集合形式での地域連携ができない状況が続くことが予想されますが、地域との連携についてオンラインや動画による実施形態の検討を重ね、本校生徒に対する教育活動だけではなく、今後も地域の教育機関と連携を取り、ご理解とご協力を得たいと考えております。

「地育地活」の言葉通り、吹田で育てていただいた吹高生が、将来は地元吹田で地域のために活躍できるようにしっかりと取り組み、また、吹田高校の生徒全員がこのような意識を持ち、開かれた学校づくりの主人公になれるように取り組みを充実させてまいります。

■生徒へのアンケート

質問		学年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R03肯定的回答率
16	あなたは、学校に行くのが楽しいですか。	1年	42.1%	35.2%	12.5%	10.2%	77.3%
		2年	36.5%	36.1%	17.1%	10.3%	72.6%
	(全学年 肯定的回答率平均 73.7 %)	3年	35.7%	35.7%	15.7%	13.0%	71.3%

■保護者へのアンケート

質問		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R03肯定的回答率
21	お子さんは、学校が楽しいと言っている。	30.7%	37.0%	24.9%	7.4%	67.7%

【学校の受け止め方（分析）】

学校が「楽しいですか」という、少し抽象的な質問でしたが、生徒アンケートでは7割以上、保護者アンケートでは7割弱の方が「学校が楽しい（と言っている）」という回答でした。一方で、3割の生徒が「（どちらかといえば）そうではない」という回答結果でもあります。この割合は昨年に比べて残念ながらあまり変わっていません。

「何か具体的に楽しくない原因がある」「他に楽しい居場所がある」「家庭では、あまり学校のことは話題にならない」等、様々なケースがあると考えられますが、「楽しくない」「居場所がない」学校に毎日通わなければならない状況に陥っているとすれば、日々の学校生活を送ることが非常に困難であると考えます。とりわけ、具体的な原因がある場合には、生徒本人から、または保護者の方から、担任やクラブ顧問など話しかけやすい教員にお気軽に相談していただければ幸いです。また、保健室横に「みかんルーム」という相談室を設置しておりますので、友達には話せないこと、悩みごとがあれば遠慮なく利用していただければと思います。

【来年度以降の指導の方向性（対応）】

ともすれば、社会全体として、刹那的な「その場限りの楽しさ」を求めがちな風潮もある中

で、学校としては、ぶれることなく「授業が分かり、学習することに充実感があること、学校行事に積極的に取り組み達成感があること、部活動に一生懸命に打ち込み、一体感や爽快感が感じられること、友だちとの人間関係において温かみを感じ、友情を深めること等、これらのことを実現して『学校が楽しい』ものとなる」というメッセージを、生徒たちに発信し続けていきたいと思えます。

学校には、様々な困難や事情を抱えた生徒もありますが、高校生という多感な時期に、学校という場だからこそ学び、身につけることができる、人生の中でも貴重な経験・体験を何よりも大切にできるよう、すべての一人ひとりの生徒がまっすぐに学校生活に取り組んでももらいたいと思えます。

全教職員で、今回の学校教育自己診断でいただきました様々なご意見を今後の教科指導、生徒指導、進路指導、学校行事、部活動、教育相談等、すべての学校での取り組みに活かし、一致協力して「計画」の完全達成をめざして日々の指導に取り組み、生徒・保護者の皆様の本質的な意味での満足度をさらに向上させるべく努力してまいります。

今後とも、吹田高校の取り組みに対しまして、引き続き深いご理解とご協力をお願いいたします。